

議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第111回定例会
日時	10:00~12:10
場所	山梨大学医学部地域医療学講座から zoom ミーティング設営
参加者 イニシャル	W.N Y.Y K.K H.M K.M A.H N.H H.K H.K N.M K.M H.R M.H (計13名) オブザーバー：佐藤教授

議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1、2021年度定例会開催形式について 2、事務局会議の報告 3、メール配信の流れとシフト担当者・シフト作製について 4、年間行事・直近イベント情報 5、「がん患者サポートセンター」からの提案報告 6、議事録担当者について 7、事例検討 8、その他
-----	---

議事内容

1. について

2021年度も、山梨大学医学部地域医療学校座佐藤教授のサポートを得て、オンライン定例会でつながりを継続することとなった。オンライン環境が難しいメンバーもいるが、非接触型でのあつまり以外では定例会開催は当分の間、控えざるを得ない。また、感染症が落ち着いても、甲府から離れた地域に住んでいるメンバーにとっても、体調の優れないメンバーにとっても、オンライン開催はとても便利だという意見が出た。オンラインに誰でもアクセスできる環境が整備されていくことを願う。

2. について

「のぞみの会」継続メンバー（休会を含む）には、メールにて情報を流す。
休会中のメンバーも、申し出によって定例会には参加できるので、いつでも申し出てください。
当会では、ピアサポートを行うメンバーは県の研修を修了し、定期的に事例検討を行っている会員で2名態勢のシフトを組んでいる。
がんピアサポートを継続していると同時に、緩いつながりも大切にしていること等を確認した。
休会の方にも情報発信は行うので、いつでも定例会に参加できます。
当会の規約の通り、お互いに支え合ってがんによる不安や心配事、また、現時点では新型コロナウイルス等に対する情報発信・収集をして行くことを確認した。

3. について

メール配信は、代表である若尾が、メール担当の4名に同じ内容を発信し、メール担当の4名がそれぞれの分担メンバーに同じ内容を流す体勢であることを確認した。メールが届いたら、できるだけ返事を

し、繋がり強化をはかる。

また、新規にシフトに入る方は、サポートセンターで2回のOJT体験をしてもらうことを基本としていたが、非接触型の電話相談になっていることから、サポートセンターで3回ほど電話相談を行うことでOJTの代替にすることとした。その後のシフト担当の流れに関しては、事務局会議で決定し、情報共有することとした。

シフト担当者は、定例会に概ね1/3出席し、事例検討・情報共有を行うルールは前回の定例会と同じ。

4. について

サポートセンターの出張相談は、南部、東部、北部でしてみたいとの意見が出た。また、7月頃スキルアップ研修会の予定があることも情報共有した。

直近のイベントとしては、新型コロナウイルスワクチンシン web ポジウム（5月16日）紹介。

5. について

4月より、サポートセンターでのシフト担当者は、感染対策を取りつつも現地待機となった。ただし、短時間態勢で行う。また、感染症の状況により、柔軟に対応することも提案されている。

6. について

議事録は代表である若尾が行いホームページにアップする。

7. について

- 相談室以外で偶然であったピア相談に対する対応について話し合った。がんのピアサポートを行っている、さまざまな場面で想定される事だが、『秘密の確保』に関するルールを基本として柔軟に対応する方向で各自工夫してみるという意見がでた。
- オブザーバーの佐藤教授から「サポーター自身もがん患者であり、がん体験者であり、家族・遺族である事を忘れないで良い。自分も大切に」というコメントがあった。これからはがんサバイバーとしての役割を果たしていこうと感じた。

8. について

今年度12月は、最終ではなく一週間繰り上げた12月19日に定例会を行う予定とした。

最後まで参加できたメンバーとスクリーンショットを撮影して次回の定例会開催日程を確認した。

定例会 次回予定	第112回定例会 2021年 5月30日（日） 10:00 ～山梨大学医学部佐藤教授設定 zoom ミーティング
-------------	---

司会：K,M 文責：わかお